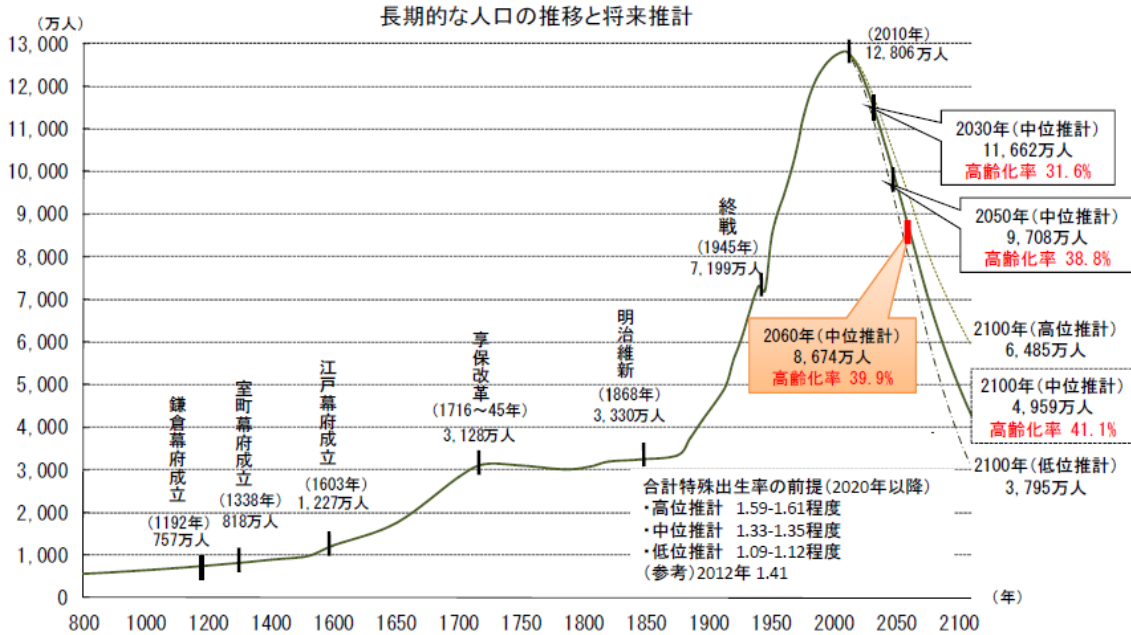


「知っていますか？日本および伊達市の将来人口予測」

日本の人口は現在の状況が続くと、2100年には日本の総人口は5千万人弱まで減少すると見込まれています。これは明治末頃の人口規模に相当します。

人口減少に伴う課題も多いことから少子化対策が急務であり、あわせて人口減少に対応した経済社会づくりが必要となっています。



(備考) 国土交通省「国土の長期展望」(2011年)をもとに作成。
 2010年以前の人口: 総務省「国勢調査」、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(1974年)
 それ以降の人口: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成24年1月推計)

伊達市の人口は、既にピーク時から2割以上減少している上、これまでの国勢調査を基に算出された推計では、平成52年(2040年)にはピーク時の5割近くまで減少することが予想されています。

特に生産年齢人口(15~64歳)と年少人口(0~14歳)が急速に減少することが予想されており、このような状況に対応した地域づくりが急務となっています。

